

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員10名と、指導訓練室のスペースが児童1人当たり2.916㎡と県の基準を超えており、適切である。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			常時4名の職員を配置。保育士、児童指導員など常中。放デイ指導員加配加算なし。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段の滑り止めやコーナーガードを取り付けているが、注意力を身に着けられるよう全てをバリアフリーにはしていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			普段の業務終了後にミーティングを行い、目標設定と振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		新規立ち上げのため、今後行っていき業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		新規立ち上げのため、今後行っていき業務改善につなげていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		他部署の職員に入って頂き、意見交換やアドバイスを取り入れ業務改善につなげている。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			非常勤職員を含め、研修報告会や外部指導者を招いて内部研修を行っている。また、行政や他団体主催の研修へも積極的に参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者面談やヒアリングを行い、定期的に個別支援計画を見直し、作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達検査(WISC-IVなど)の結果がある場合には提出していただいている。今後、事業所内の職員が実施できるアセスメントツールの利用を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			非常勤を交えて意見交換を行い、常勤が中心となってプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			新しい活動や・季節のイベントを取り入れている。また、本人に合ったものや好きなことを支援方法として取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は学習や集団での、個々の役割意識を育む活動を行っている。学校が休みの日は公園や動物園などの遠方への外出をメインに行い、普段とは違った経験が出来るよう、取り組んでい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日では学習や集団の中での個々の役割意識を育む活動を行っている。学校が休みの日は、公園や児童館への外出をメインに行い、社会参加につながる活動を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		始業前に活動・支援内容や役割を確認し、状況によって担当制にすることで、各役割を遂行することが出来ている。しかし状況によっては職員の出入りがあるため打ち合わせが難しいため改善
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			一日の振り返りを行い、情報や意見を業務日誌に記載している。また特記事項がある際は別途法人内での情報共有を行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			職員間で話し合った内容を業務日誌に記入し改善している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に1回、保護者面談やモニタリングを行い、目標や要望をうかがった上で、職員間でも検討し、内容の見直しを図っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○	利用者本人や保護者の意見を伺いながら、安全に配慮して活動を行っている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者または、常勤職員が参画している。当法人が運営する相談支援事業所とは連携を密にしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者を通して、学校での自立度や学習の進捗の情報共有を行っている。特記事項や所連絡においては連携を図っているが、更に綿密に情報を共有していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	もしもの時に備え、事前に利用者の主治医やかかりつけ院の確認を取っている。今後は、主治医との連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	モニタリングの際、保護者を通して、就学前に利用していた事業所での様子などの情報を共有していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	主に相談支援員を通して連携を図っている。必要に応じて当事業所から進路先への情報提供を行っているので、今後は更に積極的に連携を図り、相互理解に努める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	専門性を向上させている。埼玉県発達障害支援専門研修等に参加しており、今後は全ての職員が参加できるようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		児童館は利用している。その中で健常の子との関わりを持つ機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		越谷市社会福祉協議会の主催する心のアート展等に積極的に出展、参加をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時の申し送りの際や、連絡帳に特記事項を記載して、家庭や学校での様子、事業所での活動の様子の情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	必要に応じて保護者に情報提供や助言を行っている。ペアレント・トレーニングの研修には毎年一人ずつ参加し、知識や支援方法を学び、職員間で共有している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要説明事項に基づき、説明を行っている。また、利用開始後も、必要に応じて説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談は、職員間で共有し、一緒に考えている。状況や緊急度に合わせて電話や訪問を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		当法人主催の研修会を開催している。今後も、保護者同士の連携を支援できるよう取り組みを行う。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当と解決責任者を重要事項説明書に記載をしている。苦情が発生した際には、職員間で原因を分析し、改善と今後の防止策を考え、迅速に対応できるよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			4ヶ月に一度会報を発行しており、活動内容やおやつの紹介、学習のコラムなどを掲載している。また、問い合わせに関しても対応できる体制を取り、情報を公開している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			職員全体に注意喚起をし、個人情報保護の重要性を伝え、情報の漏洩が無いよう、努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用児や保護者への伝え方に配慮を行い、送迎時での申し送りが難しい際は、電話で対応。また、連絡帳や必要に応じて別途書類を用意して、書面と一緒に直接口頭でも説明を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			季節のイベント時に近隣の方に協力して頂き子供たちの活動に参加して頂いている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルに沿って職員間での理解を深めているほか、お知らせによる保護所への周知を行い、緊急時に備えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		新規立ち上げの為今後定期的に行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止ガイドラインに沿って活動しており、今後も定期的な研修を行い、職員間で周知していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			新規契約時に事例を挙げて検討した内容を基に保護者への説明を行い、了承を得て個別支援計画に危険回避のための一時的な身体拘束の項目を記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者への契約時及びアセスメントシートでの確認を行っている。今後は必要に応じて、指示書の提出をお願いしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			利用者別に記録している。法人内での会議で他事業所との情報共有を行っている。